



自民党・無所属 大阪府議団だより

大阪市城東区選出

しかた 松男議員が 商工労働常任 委員会 で質問

今回の議題

しかた松男議員は3月14日に開かれた商工労働常任委員会において、健康寿命延伸産業の創出に向けた取り組みや国際ビジネス支援、若者の就労支援などについて質問しました。



Profile プロフィール

昭和37年3月5日生まれ。大阪府議会議員、商工労働常任委員会委員。自民党城東区支部顧問。自民党城東区第三支部長、自民党府連総務副委員長、保護司、社会福祉協議会役員、城東地車聯合会長、摂河洲地車聯合会長、府立港高校みなと会会長。ヘルパー2級、一般財団法人親学推進協会親学アドバイザー、看護を考える地方議員の会副会長。http://www.m-shikata.jp/

健康寿命延伸産業の創出

大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム(OKJP)の取り組みを問う!

Q. しかた議員

国の方針として、日本再興戦略に「新たな健康寿命延伸産業の創出・育成を通じ、国民の健康増進、あるべき医療費・介護費の実現を目指すこと」が明記されており、「いのち、健康」を軸にした、新しい事業を生みだせる、健康関連産業を支援していくことは重要だ。府でも産学官金とともに「大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム」を立ち上げていると聞くが、どのような取り組みを行っているのか。

A. 立地・成長支援課長

「大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム(OKJP)」は経済産業省が設置を促す「地域版次世代ヘルスケア産業協議会」の府域版として設立し(平成27年7月)、「健康寿命延伸産業」に関心のある「事業者会員135者」と事業者会員を支援する「支援機関会員33者」に参画いただいています。

健康寿命延伸産業の創出に向けたコンテストの成果はあがったか

Q. しかた議員

研究会やコンテストにおいて、どのような成果があったのか。

A. 立地・成長支援課長

「健康産業有望プラン発掘コンテスト」(8月から募集)には、3分野の研究会参加者からの18件を含む46件のビジネスプランの応募があり、3件の事業化有望プランが選定され、現在、専門人材による事業化に向けた伴走支援を実施。また「ヘルスケアビジネスエキスポinおおさか」では先駆的な自治体・大学の取り組み、最新商品の紹介や企業展示ブースにおいて参加者間で交流を図りました。

国際ビジネス支援

大阪ビジネスサポートデスク設置地域の選定方法を問う!

Q. しかた議員

先般、カンボジア視察の際に日本企業が溶接技術などを教えている光景を目にしたが、カンボジア経済財政省によると、2016年の実質GDP成長率は7.0%と2012年以来7.0%以上の高成長を維持し、対日貿易額も輸出ともに増加^(*)、今後も市場は拡大すると思われる。府の大阪ビジネスサポートデスクはカンボジアには設置されていないが、どのようにして設置地域などを決定しているのか。
(※日本の貿易統計より)

A. 立地・成長支援課長

大阪ビジネスサポートデスクは、府が現地にネットワークを持つ日系企業に委託して海外展開を希望する府内企業への販路開拓支援等のサービスを提供しています。毎年度、効果的な地域に設置できるように見直しを行い、外部有識者による「大阪府企業海外展開支援審査会」での選定を経て、決定します^(*)。

(※平成29年度はインド、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、欧州、北米の9箇所に設置。)

海外進出を考える企業をより一層サポートすべき

Q. しかた議員

今後、海外進出を考える企業に対する支援がより一層必要になってくると考えるが、サポートデスクでの具体的な支援メニューや利用実績などはどうか。

A. 立地・成長支援課長

取引先候補となる現地企業リストの提供や現地出張の際の同行サポートなど、中小企業が進出検討段階や海外展開初期で必要とするメニューを提供しています。利用実績は平成27年度が計62件、28年度は計157件と倍増以上となり、29年度は計113件(12月末時点)で昨年度並みの件数が見込まれます。

若者への就労支援

OSAKAしごとフィールドにおける、若者支援への取り組み状況は?

Q. しかた議員

就職希望の府内大学生6人に1人が正社員などの職につけないまま卒業しており、原因として社会人基礎力が備わっていない若者の存在や職種の偏りによるミスマッチなどがある。昨年5月にリニューアルした府の総合就業支援施設であるOSAKAしごとフィールドでは、就職に困難性を抱える若者や事務職へのこだわりが強い若者に対する支援を行っているが、主な取り組みの状況について問う。

A. 就業促進課長

従来より働きたい全ての人の支援に取り組んでおり、特に就職に困難性を有する若者には、求職者の特性を見極め、個々の状況に応じた、きめ細やかな支援を実施。また、事務職志向が強い若者には人材確保に課題を抱える製造業、運輸業などの業界の魅力や伝えると共に、職種志向の拡大を促し就職へとつなぐ取り組みを進めています^(*)。
(※OSAKAしごとフィールドを利用した34歳以下の若年求職者は8,213人<平成29年12月時点>で、うち2,170人の就職が決定している。)

OSAKAしごとフィールド

求職活動中や不安定な就業状態にある支援すべき対象へ周知・利用促進を!

Q. しかた議員

府の34歳以下の若者の失業者は全体の4割、約6万人を占める^(*)。支援が必要な若者にOSAKAしごとフィールドの良さを伝え、利用につなげていくための仕組みが重要だ。求職活動中の若者や不安定な就業状態にある若者に対する、利用促進への取り組みはどうか。
(※平成29年7月から9月の大阪府全体の完全失業率は3.6倍、25歳~34歳は4.7倍)

A. 就業促進課長

ホームページやSNSを活用した情報発信やよしもと芸人起用のPRポスターを作成し、情報の拡散を図るなど、これまで以上に若者に響く広報の実施に努めています。来年度は学内でのセミナーや合同企業説明会で出展を行うなど、OSAKAしごとフィールドの魅力を求職者に直接伝えることで利用促進を図っていきます。

難病患者の雇用促進について

難病患者の雇用支援は重要な課題 ▶▶ 企業理解へ取り組みは

Q. しかた議員

難病患者の就労については、(介護等の必要がない人でも)月1回の通院や体調不良などがあっても社内の人には言いにくいなど、企業側の理解不足などにより未だ多くの困難がある。雇用支援は重要な課題だ。難病患者の雇用促進にどのように取り組んでいるのか。

A. 就業促進課長

難病患者の方が職業生活を続けていくためには、病気に対する企業の理解と働く上での配慮が不可欠。そのため健康医療部と連携し、企業への啓発を進めています。また障がい者の雇用に先進的に取り組む企業を登録する「障がい者サポートカンパニー制度」において、優良企業登録の要件の一つに「難病患者の雇用」を設定しています。